

地域の暮らしを話す会

平成27年度実施報告書



社会福祉法人 泉佐野市社会福祉協議会

目 次

1. 地域の暮らしを話す会（住民座談会）とは	p 2
2. 平成 27 年度実施報告	p 4
3. 地域の暮らしを話す会の効果	p 7

【各地区の意見詳細】

①日新地区	p 1 5
②佐野台地区	p 1 8
③北中地区	p 2 8
④三小地区	p 3 1
⑤末広地区	p 3 3
⑥一小地区	p 3 7
⑦長滝地区	p 4 2
⑧上之郷地区	p 4 6
⑨大土地区	p 4 8
⑩長坂地区	p 5 1
⑪日根野地区	p 5 5
⑫南中地区	p 6 0
⑬中央地区	p 6 3
⑭二小地区	p 6 5

【参考資料】

①地域の暮らしを話す会 開催チラシの雛型	p 69
----------------------	------

地域の暮らしを話す会（住民座談会）とは

1.地域の暮らしを話す会（住民座談会）ってどんなもの？

→地域の困りごとを地域住民で話し合って把握する場です



「住民座談会」とは、例えば「小地域」ごとに住民の皆さんが1か所に集まって、『地域』の現状や課題（いいところや困りごとなど）を話し合って把握し、地域の将来像を考えあう場のことです。住民座談会で出たことは「地域福祉活動計画」に反映されるので、自分たちが「住み続けたい」地域の将来像を実現する手がかりとなります。

座談会がなぜ
必要なの？

3つの理由が
あります。



2.住民座談会がなぜ必要なの？

→豊かに安心して住み続けられる地域社会づくりのために



最近、家族や地域住民間のつながりが希薄になってきたと感じることはありませんか。日本では今、そうした社会状況が進む中で、虐待・ひきこもり・暴力・自然災害の対応・自殺など、社会問題が多様になり複雑化しています。

私たち住民の多くは、地域で安心して豊かに住み続けられることを願っています。そのためには、だれもが地域から孤立することなく、いろいろな生き方を認め合い、つながりを持ちながら生活できる新しい地域社会をつくっていくことが必要です。

→地域のことは、地域できめていくために



「自分たちの生き方やそれに合った地域づくりは、自分たちで決めていこう」といった市民活動の動きが、各地で活発になりつつあります。

新しい地域社会をつくるには、住民の皆さん自らが地域の現状を把握し、「住み続けたい」「住んでみたい」「住みやすい」地域の将来像を考え、それに向かって実践していくことが必要です。

地域のいいところをみんなで
見つけてのばしていこう！



→自分たちの地域の課題を改善し作っていく



目的は「地域の福祉を推進していく」誰もが安心して豊かに生活できる地域づくりを実現していくことにあります。地域のそれぞれの実情にあった福祉を進めていくには、まず身近な地域において住民の皆さん自らが望む地域をつくることが大切です。

引き続き地域の課題を確認し、地域の将来像を語り合う、その時々時代にあった地域づくりのために「地域の暮らしを話す会」で住民参加の機会を中心として、住民の皆さん自ら主体的に参加するようすすめていきましょう。



住民座談会で、地域の困りごとをみんなで話しあいましょう！

自然災害などで困ったとき、助けあえるといいね。

顔や名前を知らない人が結構いるからなあ。

あいさつの輪をもっと大きく広げたいな。

子どもの事件が増えて不安だわ。



■小地域って？

小地域とは「住民の顔がみえる地域のこと。その単位は、小学校区や町会・自治会です。地域の実情によって定めましょう。住民の皆さん自ら地域の課題を見つけ、解決していくことが可能な単位です。

★地域の暮らしを話す会は、それを行うことが目的ではありません。話す会を活かして、自分たちが住み良い地域、安心して暮らせる地域をつくっていくことが目的です。

平成 27 年度実施報告

1)開催状況

泉佐野市社会福祉協議会では、泉佐野市と協働で平成 25 年度・平成 26 年度の 2 か年をかけて「第 2 次泉佐野市地域福祉計画・地域福祉活動計画（いずみさのみんなの絆プラン）」の 2 つの計画を作成しました。

計画の策定にあたり、平成 25 年度に市内の 14 地区で 2 回ずつ、「地域の暮らしを話す会」を行い、そこで出た意見を「いずみさのみんなの絆プラン」に反映したり、新たな取り組みをすすめるための材料にしたりしました。

そういった中で、平成 27 年に完成した「いずみさのみんなの絆プラン」において、「計画の普及をはじめ、地域から出される新たな課題を本計画見直し時に反映」するための場として、地域の暮らしを話す会が位置づけられたことから、行政と社協、CSW が協働で取り組んで行くことになりました。

《平成 27 年度「地域の暮らしを話す会」開催日時・場所・参加人数一覧》

地区	日 時	会場	CSW	社協	参加者
日新	2 月 14 日（日） 10 時～	日新小ミーティングルーム	水平会	3 人	26 人
佐野台	※佐野台地区は、各支部分散で開催しました。				
東佐野台	10 月 2 日（金） 13:30～	東佐野台町会館	社協	2 人	13 人
佐野台	11 月 21 日（土） 19:00～	佐野台集会所	社協	3 人	23 人
南泉ヶ丘	1 月 23 日（土） 10:30～	南泉ヶ丘会館	社協	3 人	34 人
西佐野台	2 月 20 日（土） 10 時～	西佐野台町会館	社協	3 人	16 人
北中	2 月 26 日（金） 19 時～	鶴原町会館	水平会	3 人	38 人
三小	3 月 6 日（日） 10 時～	旭町会館	泉ヶ丘園	3 人	24 人
末広	11 月 10 日（火） 19 時～	東羽倉崎南町集会所	泉ヶ丘園	3 人	29 人
一小	2 月 19 日（金） 19 時～	羽倉崎町会館	泉ヶ丘園	4 人	38 人
長滝	2 月 10 日（水） 19 時～	長滝第一会館	常茂恵会	3 人	36 人
上之郷	12 月 17 日（木） 19 時～	上之郷小学校多目的室	常茂恵会	3 人	16 人
大土	1 月 30 日（土） 19 時～	大木小学校	常茂恵会	4 人	32 人
長坂	9 月 8 日（火） 19 時～	次世代育成交流センター	水平会	4 人	34 人

日根野	11月15日(土) 19時～	日根野町会館	常茂恵会	3人	44人
南中	9月4日(金) 19時～	南部市民交流センター	常茂恵会	3人	37人
中央	3月12日(土) 10時～	葵町会館	社協	4人	17人
二小	2月22日(月) 19時～	福祉センター3階	泉ヶ丘園	4人	22人

合計参加者数 479人

2)当日の内容

平成27年度についてはこれまでに出了意見や、「いずみさのみんなの絆プラン」に掲げられた目標をより具体的な活動のアイデアにしていくために、参加者で深めたいテーマを1つ選びそれについて話し合うという方法をとりました。これは、「自分たちの地域にとって必要なことを自分たちで話し合う」という趣旨に沿ったものです。

★地域の暮らしを話す会における、基本的な進行の枠組み

司会進行:社協CoW(地区担当者)

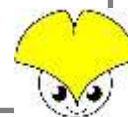
時間	内容
開始～15分	趣旨説明・自己紹介など
15分～25分	行政より、地域福祉計画の説明
25分～30分	グループごとでのテーマ決め
30分～35分	テーマに対するアイデアを各自でふせんに書く
35分～65分	ふせんをもとに、グループごとに話し合い
65分～90分	各グループで話し合った内容の発表

【※メモ】

自分の意見を「ふせん」に書くという作業には、2つの意味があります。

- ①口下手な人でも意見を表明できる
- ②後で記録をまとめるときに「発言者の属性を外す」
(「誰が言ったか」ではなく「どんな意見か」を重視できる)

少し手間ですが、みんなで意見を出し合う時には大切な手法です。



日頃から地域の福祉活動に取り組んでいる方々が、地域にどのような課題があると感じ、そのためにどのように取り組めばよいと考えているかを明らかにすることは、今後の地域福祉の充実を図っていくうえで非常に大切な情報になります。

似たようなテーマを選んでいてもその地域のもつ歴史性や地理的条件によって出席者の意見は異なります。

《それぞれの地区で話し合われたテーマの一覧》

地区	テーマ(※当日のグループごとで話し合って決定)
日新	みんなの力～一人はみんなのために、みんなは1人のために～ 安全な町づくり/集まる場所づくり 災害対策/清掃等の参加人数を増やすには
佐野台	東佐野台の住民がこの町で安心して暮らしていくためにはどうすればよいか/「困難に直面した時どう対応するか」/つながり/思いやりのある地域づくり/住みやすい町づくり/話し合い/一時避難について/町会脱退者をなくすには/地域交流/地域活動の担い手をどのように確保するか/高齢化対策/住みよい町にするために/安心、安全のまちづくりについて/会館の有効利用/西佐野台を住みやすい町にするにはどうすればよいか
北中	住みやすい町/町づくり/住み良い町づくり
三小	高齢者にかかわりやすい町づくり/住民同士のつながり/挨拶の交わす町・地域
末広	南町をよくしていくためには/支えあいのまち/町会の活性化 どうすれば住みやすい町になるか/「つながるしくみ」をつくろう
一小	福祉を支える人づくり/活気ある町づくり/コミュニティバスについて/地域の活性化/町内の活性化/地域の困りごと(マナー)/活動の担い手
長滝	みんなで「安心・安全のまち」をつくろう!/地域の助け合い/ゴミのすて方/少子化/町会・福祉・青年団の体制等各種団体の強化/地域の美化
上之郷	地域の情報/不法投棄/町会加入を促進するために
大土	大木の活性化/景観/住みやすい町づくり/魅力ある地域/花満開～にぎわい創り～
長坂	地域の絆づくり/地域の困りごと(マナー)/支え合う仕組みをつくろう/住みよい町作り/防災/住民が積極的に参加するには
日根野	住民同士の繋がり(コミュニケーション)防災時について話し合う/交通マナーの向上と安全な町作り/交通事情を良くするには/町会加入促進/町会加入率アップ/町会加入率をアップするには/地域活動の担い手の確保
南中	防災について/高齢者が安全にくらすために/地域の見守り/防災
中央	高齢化について/助け合える町づくり/気になる家を把握する
二小	環境の美化・猫と犬の害・認知問題/地域活動の周知/交通安全/明るく元気!!/住み良い街に/町内の高齢化対策について

地域の暮らしを話す会の効果

泉佐野市内でも、地域の暮らしを話す会で出た意見を参考にしながら、具体的な取り組みにつながっていった事例が生まれてきています。そのうちのいくつかを紹介します。

①長滝中ノ番子育てサロンの設立まで

平成 25 年度の地域の暮らしを話す会にて・・・

子育てしやすい
環境をつくっていく

子どもとの遊び場を
多くする

協力し合える
ような話し合い
の場をつくる

若い世代の人々の
意見を参考にする

地域内で協力し話合える場「話そう会」設立

「話そう会」で子育てサロン設立について協議・企画

上之郷地区子育てサロン「ぬくもり」を見学

回覧・掲示板で地域内に周知

話そう会

- 概要
主に毎月第4木曜日の
子育てサロン開催時に
集まっている
- メンバー構成
町会有志

社協の支援

- 子育てサロンの設立、運営ノウハウの支援
- メニューなど運営方法などの相談
- 看板やチラシなど、周知手段についての支援

平成 26 年 7 月 24 日 長滝中ノ番子育てサロン「あおぞら」開始

日 時: 毎月 第4木曜日 10 時 00 分～11 時 30 分
場 所: 長滝中ノ番町内会館
対 象: 長滝中ノ番地区在住の就学前の幼児と保護者
参加費: 無料

子育てサロン「あおぞら」の様子



その後「話そう会」で

通学路の危険個所を「話そう会」のメンバーで把握

針金のでっぱりや、溝のふたが浮いている
ところなど処置をおこなっている



通学路危険個所の
マップ・一覧の作成
(写真)

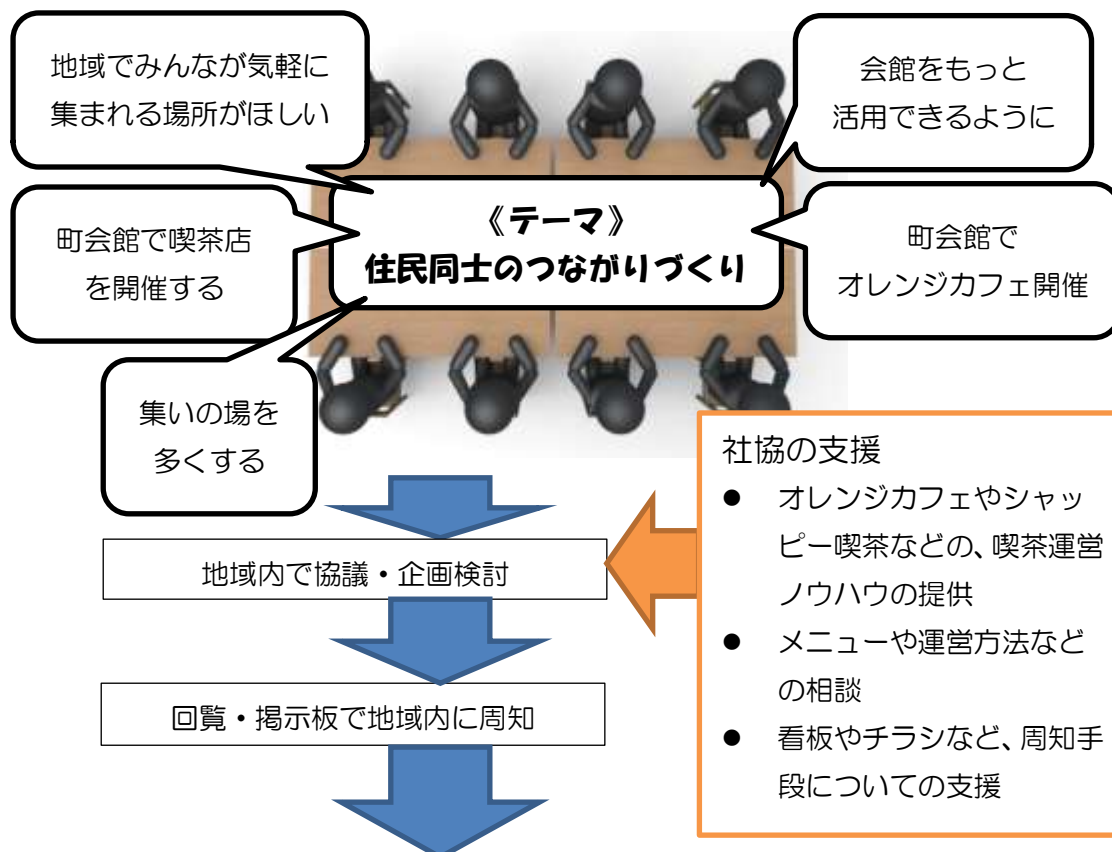


ここがポイント！

中ノ番のみなさんは、自主的に「話そう会」をたちあげ、地域の暮らしをよくするための活動を実践されています。

②旭町カフェの設立

平成 26 年度の地域の暮らしを話す会にて・・・



平成 27 年 10 月 1 日 旭町カフェ開始

日 時: 毎月 第 1 木曜日 13 時 00 分～15 時 00 分
場 所: 旭町会館 対 象: 誰でも
参加費: 100 円 (飲み物お替り自由)



増えています！誰もが集えるコミュニティカフェ

コミュニティカフェとは、“地域社会の中で「たまり場」「居場所」になっているところ”の総称です（公益社団法人長寿社会文化協会「全国コミュニティカフェ・ネットワーク」ホームページより）。長寿高齢化社会のなかで、リタイア世代の居場所の必要性が求められている時代のなかでの解決策のひとつとして注目されており、NPOやボランティアグループ、個人の喫茶店など、様々な主体による多様な形での取り組みが全国的に広がっています。

泉佐野市社会福祉協議会でも、事務所の拡張にともないできたスペースで、平成26年より、「シャッピー喫茶」という誰でも立ち寄れる喫茶スペースを設けたところ、年間でのべ1500人（H27年度実績）を超える利用者がいました。

泉佐野市内における地域の暮らしを話す会でも、「地域の人たちが気楽に集える場」「互いに顔見知りになる機会」の必要性を求める意見が多く、多くの地域でだされていました。また、「町会館の有効活用」「町会について知る機会」の必要性をみとめる声も多くの地区あがっていました。このような声に対して、カフェ活動はひとつの解決策になるのではないのでしょうか。

コミュニティカフェのポイント&メリット

①定期的に開催している	その日にいけば、誰かに会える、という安心感。閉じこもり防止につながる。
②誰でも参加可能	互いに顔見知りになる機会になる。
③自由に入退室可能	自分のペースで参加できる。 （体調や都合にあわせて参加できる）
④自由に話ができる	困りごとの発見や支援の情報提供がされたり、新たな企画のアイデアが生まれたりする。
⑤身近な場所で開催	地域内にある資源の有効活用、地域への愛着をうむ

なお、地区福祉委員会（支部）が主体となって取り組む場合には、小地域ネットワーク活動のグループ支援活動の一環として、活動費補助がでています。

地区福祉委員会の行っている、カフェ活動

実施地区	場所	開催日時
一小地区・松原団地住宅支部	松原住宅集会所	毎週火・木・土 9:00～12:00
三小地区・旭町支部	旭町会館	毎月第1木曜日 13:00～15:00
長坂地区・泉ヶ丘支部	泉ヶ丘町会館	毎月第4火曜日 13:30～15:00
日新地区・上瓦屋支部	上瓦屋町会館	毎週水曜日 13:00～16:00

③町会加入を促進するための上之郷地区福祉委員会の取り組み

平成 27 年度の地域の暮らしを話す会にて・・・



実際の記事（平成 28 年 3 月 1 日発行 上之郷地区福祉だより「ぬくもりの郷」より）

(3) いずみさのし

上之郷地区福祉だより

平成28年3月1日



先ず趣旨説明を聞く参加者

地域の暮らしを話す会

泉佐野市社会福祉協議会の主催で

十二月十七日(木)に「地域の暮らしを話す会」が上小多目的室で開催されました。これは、「みんなで支えあい、顔と顔でつながるまち泉佐野」を基本理念として、みんなが地域でいきいきと暮らせるよう、市民一人ひとりが「やさしさ」と「ふれあい」でつながり、地域の課題を共有するまちづくりを目的として行います。上之郷地区でもその趣旨に沿って地域福祉活動を推進するために地域でのいいことや困りごと、これからの生活に大切な問題点を

★個人で取り組むこと

★地域で取り組むこと

★行政にお願いすること

★その他の機関・団体をお願いすること

などに思いの意見を出し合い、まとめを発表しました。

その結果の一つとして「ぬくもりの郷」情報誌を町会未加入者宅にも配布することとしました。

母山・女形支部
テーマⅡ地域情報
下村・郷田・机場支部
テーマⅡ不法投棄
上村・中村支部
テーマⅡ町会に加入を促進するために
と三班に分かれ話し合

みんなで話し合いました。今回は、母山・女形支部
テーマⅡ地域情報
下村・郷田・机場支部
テーマⅡ不法投棄
上村・中村支部
テーマⅡ町会に加入を促進するために
と三班に分かれ話し合

熱の入ったまとめの発表



④買物支援のための取り組みが動いた事例

実施経過

平成 25 年度	地域の暮らしを話す会にて、「スーパーが遠く不便」「車がない人は買い物に困っている」などの意見がでる
平成 26 年 7 月	「第 2 次泉佐野市地域福祉計画・地域福祉活動計画」作業部会にて買物弱者支援・移動支援についての専門作業部会を開催。 買物支援・移動支援について協議
// 8 月	泉佐野市と「いずみ市民生協」で移動販売に関する協定を締結
// 9 月	市の紹介で、生協と社協・地区担当で情報交換 ・実施するには、地域の理解が必要だが、生協だけで各町会へ説明に行くのは難しい ・市も特定の企業の取り組みのみを斡旋するのは難しい →「公共性の高い民間社会福祉法人」という社協の立場を活かして、企業と地域との間の調整を社協・地区担当が行うこととし、「地域の暮らしを話す会」で「買い物が難しい」という意見がでた地区に対して重点的に声かけ（※紹介自体は全地区に対して行った）。「話しを聞いてみてもいい」という返事をくれた地区を社協・地区担当から生協に紹介した。
// 11 月	泉佐野市で生協による移動販売実施
// 12 月 平成 27 年 1 月	泉佐野市「平成 26 年度買物弱者・フードデザート問題への対応に関する意見交換会（経済産業省モデル事業）」に出席した社協・地区担当から、「平成 25 年度地域の暮らしを話す会」の抜粋を配布・報告。
平成 28 年 2 月	社協主催「平成 27 年度小地域ネットワーク活動報告集会」にて、末広地区福祉委員会より、移動販売と地区福祉委員会との連携について報告。
平成 28 年 4 月	報告集会の発表をきいて、新たに実施を検討したい、という相談が社協に寄せられる。町会・生協・社協の 3 者で打ち合わせ。

平成 28 年 6 月 1 日現在、泉佐野市内の 8 町 18 ヶ所（東羽倉崎南町＋新安松、東羽倉崎、西佐野台、松原団地住宅、南泉ヶ丘、大木、泉ヶ丘）で移動販売実施。

※本事例において、「地域の暮らしを話す会」の果たした役割

泉佐野市では、介護保険計画策定のためのアンケート調査などを通じて、買物に支援の必要な人がいることを把握していました。しかし、実際に移動販売事業を進めていくには、移動販売車の駐車場所の確保など、地元の町会（自治会）との調整がかかせません。「地域の暮らしを話す会」は、個々の生活上の課題を地域のニーズ（課題）「買物支援の必要性」として地域の役員・社協職員で共有する重要な機会であったといえます。

それがあったからこそ、社協の地区担当職員は、町会（自治会）と企業とが協働するにあたっての調整役になれたと考えます。

これからの地域福祉課題の解決に取り組む上では、行政・住民・企業などの間を調整する人（コーディネーター）の役割が大切です。

ミニコラム

社協の地区担当者の役割

泉佐野市社会福祉協議会では、地区福祉委員会の活動を支援する「地区担当職員」を配置しています。

社会福祉分野における援助技法における、地域社会に対する支援技法（コミュニティワーク）を用いながら、地区福祉委員会等の地域組織の支援を行っています。

泉佐野市社協における地区担当者の役割・機能

- ① 組織の運営支援
…会議の進め方や資料の作成などの助言や支援
- ② 地域福祉活動の進め方に関する助言・支援
- ③ 担当地区内の社会資源の把握と周知
…サロン活動の紹介（小地域ネットワーク活動報告集会等での発表の場づくり）など
- ④ 地域福祉活動の担い手の養成
…ボランティア講座の開催や出張講座の実施など
- ⑤ 活動から発見した福祉課題と専門機関との間の連絡・調整機能
…ネット対象者の困りごとを発見したボランティアや民生委員に対して専門相談機関を紹介する、地区福祉委員会と福祉施設や企業、行政などが連携できるように間で調整を行う、など

各地区ででた意見の詳細

各地区における地域の暮らしを話す会ででた意見
(ふせんに書かれた意見)を、すべて書き出しました。



日新地区・地域の暮らしを話す会

日時：平成 27 年 2 月 14 日（日） 10 時 00 分～11 時 15 分

場所：日新小学校 ミーティングルーム

参加人数：26 人（湊 7 人・上瓦屋 7 人・中庄 6 人・泉陽ヶ丘 6 人）

参加スタッフ：社協 3 名（CSW・基幹・包括）、CSW1 名、行政 1 名

湊

みんなの力 ～一人はみんなのために、みんなは一人のために～

個人で取り組むこと	
声掛け・挨拶	こちらから挨拶ができる心構え
話し合って決まったことは実行する	隣の状況(近所)を把握する
子供、高齢者の見守り	町内会行事に参加する
地域で取り組むこと	
犬の糞	情報の共有
町内会三役、評議員、組長に話しやすくする	
隣組の活用	情報が途中で止まる
町内会に参加させる	防災会を活用させる
子供に対し声掛け挨拶をする	見守り(お互いに)
ゴミの出し方	
行政にお願いすること	
福祉で持っている情報提供	福祉に出すお金を増やす
防犯カメラ	
その他の機関・団体をお願いすること	
各種団体の交流	町内会の行事のお知らせ
町内会にお願いする	団体同士の連携
パトロールの強化	

上瓦屋町

安全な町づくり

個人で取り組むこと	
町内声掛けと挨拶運動を	火の始末(個人で)
消火器有志に預ける	車の駐停車
地域で取り組むこと	
消火器の設置	AED の普及
ラウンジに集った人の交流(安全等)	町内に 2～3 か所外来者駐車場を
一人暮らしを見守りたい	町内の細い道は車の乗り入れ禁止
防火訓練の実施	子供の安全
児童の登下校の見守り	
行政にお願いすること	
いざという時、消防車が入れるように P 規制を	
地区に 1～2 か所消火器設置	各家庭に消火器設置。市の補助を
市設置の放送設備を各町会毎につかえるように	
その他の機関・団体をお願いすること	
通学佐野川橋安全柵	減速の標示

中 庄

集まる場所づくり 災害対策

個人で取り組むこと	
近所の人を誘って連れてくる(お茶)	なるべく参加する事に心がける
まず家庭で互いに努力、助け合いを	まず近くのごみを拾うようにする
まず近くをきれいにする	
地域で取り組むこと	
育成会・子供会・婦人会・町内会・青年団・長生会から手伝いに来てもらう(お茶)	
地区の子供たちと共に参加することがいいと思う	
町会が中心になる	婦人会、子供会、福祉委員
各種団体にも入会するように	互いに参加するように呼びかける
会館使用でルールを守る	子供にもボランティアで協力
1 日オープンでお茶をだす	高齢者、子供にもう少しお節介に
ペットで迷惑したら、回覧を回して注意をしてもらう	
中庄の高齢者と、日新小まで散歩する(避難)	

行政にお願いすること	
中庄会館の管理者にお願いする	日新小学校グラウンドを避難場所として
消防署の人にきてもらって話を聞く	
子供の夏休みラジオ体操の推進を役所もPR	
その他の機関・団体をお願いすること	
中庄会館をなるべく開放的にする	防災グッズの展示、販売業者

泉陽ヶ丘

清掃等の参加人数を増やすには

個人で取り組むこと	
清掃前月には近所の人に連絡をする	近隣との声掛けながら心がけて誘っていく
声を掛け合って参加する	見かけると積極的に声掛けをする
高齢者の方に声掛けをしてその様子を見る	交流の場にて参加するだけでOK
回覧板の回覧日を直前ギリギリとし各戸手渡しですること	
自治会未加入者に対しても、地域社会に貢献することの大切さを回覧板で訴える	
地域で取り組むこと	
子供も参加するように呼びかける	地域の人との交流など会話(立ち話など)
行事内容の効果を宣伝する	各班長が率先して班単位の集まりを工夫する
飲食、カラオケに参加できる人は清掃に参加を呼び掛ける	
当地域では比較的高齢者の参加は良好で、若い人たちの参加を促す方策は？	
『詐欺に引っかからないには』をテーマの集会実施	
自治会不参加者に対しタダ乗り理論は世間では通用しないことを認識させるよう文書や話し合いの場を持つ	
行政にお願いすること	
マイナンバーが必要なケースとその時期は	道路の段差をなくす
市のボランティアさんと一緒に地域の掃除	公的行事にはバス等を出してほしい
警察のパトロールをもっと頻繁にやってほしい	
自治会参加を勧めるパンフレットを重ねて行政が作成する	
高齢者問題を地区や民生委員に任せっぱなしの行政はおかしい	
その他の機関・団体をお願いすること	
消費者センターは地域に入ってもっと詐欺の実態について説明してほしい	

佐野台地区・地域の暮らしを話す会

佐野台地区福祉委員会の役員会で開催について協議した結果、支部ごとで開催することになりました。

東佐野台支部地域の暮らしを話す会

日時：平成27年10月2日（金） 13時30分～14時30分

場所：東佐野台会館

参加人数：13人 参加スタッフ：社協2人（CSW、包括）

東佐野台A

東佐野台の住民がこの町で安心して暮らしていくためにはどうすればよいか 「困難に直面した時どう対応するか」

個人で取り組むこと	
平素よりご近所さんとの交流をしておく	近所付き合いを大切にしておく
お互いが家の様子等を見つめておく	若い家庭の夫婦の家庭にも声かけする
長期にわたり留守をする時親しい方に声をかけておく	
娘さん息子さんに近所の親しくしている方を教えておく	
本人がまず「困ったこと」を発信する	SOSを活用
地域で取り組むこと	
近くの仲間同士の助け合い	町会医院の若返り、住みたいところに
情報を交換する	おせっかいも必要
普段から声掛けし合う。おしゃべりなど	毎日雨戸が開いているか（特に夜間）
行政にお願いすること	
市から配達業者（新聞、牛乳、ヤクルトなど）に依頼してもらう	
近所付き合いが少ない人が電話できるようにしておく	
その他の機関・団体にお願いすること	
新聞配達所へ、新聞が溜まっている家庭があれば近所へ知らせるように頼む	
介護ヘルパーを利用しやすくする	

東佐野台 B

東佐野台の住民がこの町で安心して暮らしていくためにはどうすればよいか

個人で取り組むこと	
お隣さんと仲良くする	挨拶、声掛け
自己管理（あらゆる面で）	近所の人と話す機会を多くする
若い人が住んでほしい	若いボランティアが入ってほしい
町の会合にはもっと参加してほしい	家の中でこもらず外に出ることを実行する
子供と一緒に住む	
地域で取り組むこと	
隣近所との付き合い（小さな集団）	地区、支部福祉委員会の活用
挨拶する	情報収集
回覧板（安否確認ができる）	町会に全員が入る様に指導
町会、長生会、福祉が合同で話し合いたい	お互いに声掛け会う事にしている
3組は通りぬけできないので、知らない人が来たら声をかける	
行政にお願いすること	
会館の駐車場を拡大	町会館が不便。坂道
町会館までの道路を整備してほしい	空家対策
その他の機関・団体をお願いすること	
お願いに対してフィードバックを必ずする	
新聞配達所と独居高齢者との連絡の道筋をつくる	

佐野台支部地域の暮らしを話す会

日時：平成 27 年 11 月 21 日（土） 19 時 00 分～20 時 10 分

場所：佐野台集会所

参加人数：23 人 参加スタッフ：社協 3 人（CSW、包括）

佐野台 A

つながり

個人で取り組むこと	
挨拶・声掛け	助け合い
見守り	
地域で取り組むこと	
体操	将棋大会
けん玉大会	コマ回し大会

カラオケ大会	ボーリング大会
地域の人と掃除する	安全パトロール
行政にお願いすること	
バリアフリーを多く	町会で使用できる車いすを増やす
誘導灯	非常灯
みんなで遊べる大きな公園	住宅内の歩道確保
駐車場を増やして欲しい	
その他の機関・団体をお願いすること	
桜公園に外灯	エコ活動

佐野台B

思いやりのある地域づくり

個人で取り組むこと	
年配者を大切に	相手の気持ちを考える
思いやりの心を	挨拶・笑顔であいさつ
地域で取り組むこと	
花いっぱいな町	共同住宅自分の周りをきれいにする
ゴミのない住宅に	安心安全な町
不審者情報の共有	迷惑駐車を追放
犬・猫の糞をなくす	動物にエサをやらないでほしい
困っている人を見かけたら手助けをする	
お年寄りの方など重い荷物などを持っていたら手を貸してあげる	
行政にお願いすること	
公園等にベンチを設置してほしい	ふじ棚にベンチ・椅子を
歩道の段差をやさしく	空家をなくしてほしい
若い人の入居	貸農園を増やしてほしい
迷惑駐車に対する行政指導	
その他の機関・団体をお願いすること	
認知症の予防・医師との連携	医療相談の場を
認知症予防のための運動の指導者の紹介	
リサイクル回収を増やしてほしい・ペット、ビン他	

佐野台 C

住みやすい町づくり

個人で取り組むこと	
子供を大事に育てる	子供の見守りの人数を増やす
地域活動に参加する	決まり事には出て守る(掃除など)
自分から話しかける	話を聞く
声掛けをする	地域活動を楽しむ
ボランティアに興味を持つ	挨拶をする
隣近所に少し関心を持つこと	隣近所仲良く
地域で取り組むこと	
ゆるキャラを作る	子供の居場所づくり
若い人たちが参加してもらえる様な企画	高齢者の集合できる場所
語り部の会の発足	町会カラオケ大会
入学前の子供の集まれる場所づくり	違法駐車
ミニミニ花づくり	美化運動を活発に
地域で楽しむ行事をする	町内行事を住民に知ってもらう
行事に参加してもらえるような企画	誰でも集まれる場所づくり
子育てカフェをする	地域で作る畑
イベントに全員参加	
行政にお願いすること	
集合場所をつくる	子供が集まれる公園を作る(ベンチも)
ミニミニ図書館の設置	若い世代の入居
若年家族の入居を増やす	空家になった場合速やかに封鎖してほしい
その他の機関・団体をお願いすること	
キャラクターを参加させてのイベント	空家利用できるように
寄合の出来る場所づくり	子供たちの遊び広場
高齢者の集合場所	

佐野台 D

話し合い

個人で取り組むこと	
笑顔であいさつ	見守り
地域で取り組むこと	
声掛け運動	いこいのカフェに来てほしい

趣味の同好会を作る	野菜づくり
日頃の近所付き合い	町をきれいに
井戸端会議を大いにしていこう	地域のイベントを作してほしい
花壇を作れるようにしてほしい	誰でも参加できるイベント
行政にお願いすること	
空家を利用できるようにしてほしい	コミュニティバスの回数を増やす
子供の遊び場所(公園)が欲しい	野菜づくり・貸農園
その他の機関・団体をお願いすること	
ヘルパーさんとの話し合いを作してほしい	若年層の活動を勧める

南泉ヶ丘支部地域の暮らしを話す会

日時：平成 28 年 1 月 23 日（土） 10 時 30 分～12 時 00 分

場所：南泉ヶ丘町会館

参加人数：34 人

参加スタッフ：社協 3 人（CSW、包括）

南泉ヶ丘 A

一時避難について

個人で取り組むこと	
決められた場所に集まる	家族と共に行動する
地域で取り組むこと	
一時避難場所をきめる(広場)	隣近所に声掛け
周り、近所の人たちが来てるかを確認する	班長が公園に集合連絡する
児童に対する対応は	高齢者(一人)避難補助
障がい者避難に対する対応は	前もって役割を決めておく
会館に一時避難をする	団体で行動する
一人ではできない。チームを作っておく	時々チームは話し合いをする
すべて具体策は	
事前に一人暮らしの方や、体の不自由な方を知っておく	
行政にお願いすること	
情報をまとめて市との	

南泉ヶ丘 B

町会脱退者をなくすには

個人で取り組むこと	
挨拶をし、コミュニケーションをする	挨拶をする
本音での話はなしあい	身体の動きが遅くなっている
高齢者が多い、また一人暮らしが多い、60～65 歳の人の再転が多い	
地域で取り組むこと	
町会で行っている行事、お手伝いの内容も含め入会者に説明	
町会(会館)で行っている行事に参加する	町会役員業務の分担
周りの話を聞く	町会が一つになること
新しい人、古い人のコミュニケーションを取る	
町会でのことを知ってもらうために話をする	
町会を退く理由のある方との話し合いをもつ	
行政にお願いすること	
町会の必要性を行政が転入の方へ説明	町会に入るメリットを考えてほしい
その他の機関・団体をお願いすること	
行政、福祉も入会を促してもらう	

南泉ヶ丘 C

地域交流

個人で取り組むこと	
足の悪い人を車でお助けする事	ご近所との挨拶(防犯)
挨拶をする	見知らぬ人への声掛け
自助同好会に参加する	地域の行事には積極的に参加する
地域で取り組むこと	
地域の美化をみんなでおこなう組織づくり	会館を利用できる様開放日を作る
(共助)巡回見回り(守)	地域内の交流の場を多く持つ
老若男女が参加できるイベント	地域の同好会にできるだけ参加する
趣味の同好会を盛り上げる	趣味の会を会館を利用して広める
親睦会の拡充	
行政にお願いすること	
防災マップの充実	ハザードマップの充実
非常時警報の方法	佐野台小を拠点に交流を充実

助成制度の充実	町会に車いすが欲しい
その他の機関・団体をお願いすること	
会館設備を充実させる(ピンポン台)	町会加入者減を防止、減少
誰でも参加の出来る集まり	会合に集まるために?

南泉ヶ丘 D

地域活動の担い手をどのように確保するか

個人で取り組むこと	
あいさつを日頃から心がける	若い人が参加しやすい日常を心がける
会館で行われているクラブにお誘いをする	散歩するときに顔合わせたら声をかける
出来るだけ若い人に声をかける。町会の役員。	
地域で取り組むこと	
隣組がまとまりにくい	福祉委員会に参加してほしい
班別に役員は決まりますが、高齢者になるととばすめになる。その場合どうするのか。	
回覧は必ず読むこと。	
宣伝する(CM)。チラシを作成してポストイン。クラブへの勧誘。	
南泉ヶ丘に住む人に対して、町会に加入すべきかどうか。	
行政をお願いすること	
皆さんが参加しやすくなるような方法を考える	
地区活動に参加して	町会に再加入していただく方法は?
町会活動についても行政がつたえてほしい	
同じ町内でも中々顔を合わす機会がない。直接会うことはないが声をかけるべしかを 考える。	
その他の機関・団体をお願いすること	
習い事は南泉ヶ丘はいろいろな場所はあるが、福祉の催しものに参加する足が無い。遠い	

南泉ヶ丘 E

高齢化対策

個人で取り組むこと	
あいさつ、声掛け	
地域で取り組むこと	
高齢者の特に一人暮らしのこと	町会を退会しないようにするには

高齢者の実態調査(一人暮らし、高齢夫婦)	引きこもり防止化 外出
お年寄りも子供も一緒にイベントを増やす	向こう3軒両隣と緊密な関係を望む
行政にお願いすること	
年金は減らさないように	防犯灯の拡充
市民(りんくう)病院健全化	JR、南海とのシャトルバスの運行
歩道を歩きやすく、舗装をやり直して	
コミュニティーバスの拡充(日曜、祝日の運行、増便)	
その他の機関・団体をお願いすること	
健康器具を設ける(公園に)	

南泉ヶ丘F

住みよい町にするために

個人で取り組むこと	
道であったら挨拶をする。誰にでも、知らない人にも	
近所の方と仲良くする	遠慮せずに必要なときは近隣に援助を頼む
町内、車使用時歩行者に気を配る	ボランティア活動に関心が薄い(全体的に)
仲良くするのもよいが、そっとして欲しい人もいる	
町内の行事には参加するように。したい人と個人差があるので。	
登下校の子供たちに、積極的に声掛け、挨拶をする。	
地域の行事にはできるだけ参加して、コミュニケーションをとる。	
各班、毎に近所同士で仲良くする事が大切だと思う。	
年齢の高い人が多いので、思いやりを持っていきたい。	
地域で取り組むこと	
福祉ボランティアの募集	町内放送があると便利です
町会役員の仕事が多いので町会に入会しない人が多いのでは、、、	
福祉活動に若い方や、中堅の方が参加できる福祉委員会にしてほしい	
行政にお願いすること	
泉佐野市と熊取町の境界をなくす	府、市、所有の土地を有効活用する(畑作り)
グラウンドの活用(1丁目)	お年寄りが健康で元気でいられる公園が欲しい
公園に体力増強できるトレーニング器具の設置をする(高齢者の外出とコミュニティ作りになる)	
空家や、土地が空いていると、草が生えたりゴミが増えて安全性や美化に欠ける。	
その他の機関・団体をお願いすること	
忙しい人、インターネットの情報活用(若い世代)発信。NPO、NGO、活用	

西佐野台支部地域の暮らしを話す会

日時：平成 28 年 2 月 20 日（土） 10 時 15 分～11 時 30 分

場所：西佐野台町会館

参加人数：16 人 参加スタッフ：社協 3 人（CSW、包括、地区担当）

西佐野台 A

安心、安全のまちづくりについて

個人で取り組むこと

普段からご近所さんと挨拶をしてお近づきになっておく

地域での見守りをしている（認知症の方を気に掛ける）

緊急電話の設置必要（おひとり暮らしの方）が台帳不良の時

伝言メッセージを付ける（各戸訪問販売有）	一日一回声掛けをする
----------------------	------------

ゴミ出しの状況で安否確認	
--------------	--

地域で取り組むこと

コープの買い物便は有効利用されている	交流する場を設ける。町会館の利用
--------------------	------------------

保育所の敷地にスーパーのようなものができたらと思う

市のどのようなサービスがあるのか分からない

班ごとに一人暮らしの方がどこにいるのか把握する

一人住まいの方で身体の調子が悪い時、近所の人に知らせるために、リボンを玄関に貼って知らせてほしい。⇒個人情報の問題あり？

西佐野台 B

会館の有効利用

維持費は町会負担	飲み物、お菓子を出す
おしゃべりサロンを開く	弁当持ちでおしゃべり会
常時開放。管理は当番制	班長 2 名ほど出席（月に一回）
時々トランプ（ハバ抜き）	
町会の必要性を行政が転入の方へ説明	町会に入るメリットを考えてほしい

西佐野台 C

西佐野台を住みやすい町にするにはどうすればよいか？

個人で取り組むこと	
自分の特技を教える	コミュニケーションを増やす
出来にこだわらないで楽しむ	
地域で取り組むこと	
集まる理由づけ	ラジオ体操
趣味のこと	将棋
アートフラワー	パッチワーク
お茶	防災活動
炊き出し訓練	子供の見守り
敬老の見守り	定期的に電話する

北中地区・地域の暮らしを話す会

日時：平成28年2月26日（金） 19時30分～20時30分

場所：鶴原町会館

参加人数：38人（鶴原20、下瓦屋9、中央住宅9）

参加スタッフ：社協3人（地区担当・包括・基幹）、CSW1人、行政1人

鶴原町

住みやすい町

個人で取り組むこと	
あいさつ声掛け	近所づきあい良くする
落ちているゴミが少なくなった	ひとりひとりが声をかけ合う
近所仲良く	子どもに声をかけるように
近所付き合い・知り合いの人を増やす	
地域で取り組むこと	
LEDにしてほしい	隣組のとりくみ方
溝掃除をみんなでする	若い世代の町会活動参加してほしい
地域の方の学校への参加（遊ぶ・教えるなど）	
お年寄りにやさしい町	ポイ捨てのタバコ・缶ボトル無くすように
行政にお願いすること	
年金をあげてほしい	プラの回収日を増やして欲しい
防犯カメラを増やしてほしい	歩道のでこぼこの修理
小学校への通学路が狭い	学校の通学路の看板をきれいにしてほしい
駅から郵便局前までスクールゾーンを作してほしい	
ゴミ袋統一してほしい	
その他の機関・団体をお願いすること	
眼下が欲しい	スーパーがほしい
スーパーが少ない	小売店スーパーが欲しい
本屋がほしい	
地域の特色	
近所が仲がよい	町内清掃がととのっている
戸数が多い	べっぴんさんが多い

個人で取り組むこと	
笑顔で挨拶する事	笑顔であいさつする
ゴミ出しマナーを守る	戸締りをしっかりする
ご近所の方と声をかけ合う	犬のふんの始末をする
無理せず出来ることから他人の為よりも自分の為に	
地域で取り組むこと	
現福祉メンバーから若い人に伝えるために	近所とのつながりを大切にする
町会加入を義務してもらう	提示版を新しい、見やすい作り
空き家何年もプロパンガス放置	近所仲良くする
行政にお願いすること	
防犯カメラの設置	
事故犯罪防止の為、街頭を増やし明るい道を作してほしい	
担当者の心配り気配りに職員に温度差心ある	
市役所の受付の人達が大変親切でやさしくなった	
井原里交番留守が多い！何とかならないか	
海岸部運河ゴミが異常に多くなった。皆で掃除する	
その他の機関・団体をお願いすること	
ゴミ袋いただいて嬉しい、町中もきれいになる	
人員不足でも市民目線で行動する	
各人、団体の持ち味を生かす、現在行政間が縦割りで連携しない	
地域の特色	
くつろぎ倶楽部で皆さんが仲良くなってきている	
お年寄りに優しい町	大きいスーパー（いこらもーる）がある
体力増進の為のスポーツ施設がある（アクトス・カーブススポーツセンター）	
まじめで熱心	町会活動の一貫性を



鶴原中央住宅

住み良い町作り

個人で取り組むこと	
えがおであいさつ	ゴミ出しのマナーを守って欲しい
せめて自分の棟の人の顔を覚えるようにしよう	
犬のフンネコのフンマナーを守ってほしい	自転車のマナー
地域で取り組むこと	
誰もが気軽に立ち寄れる様な集会所（ひらかれた）であって欲しい	
公園のゴミ掃除する事	誰もが出かけて行ける場所を決定する
特に一人暮らしの人に対して声かけ運動	友人をさそい合う事
行政にお願いすること	
ノラ猫のエサやりについて注意して欲しい	鶴原町内に公共の施設がほしい
図書館がもう少し近くにあれば！！	コミュニティバス停が近くに欲しい
歩道のデコボコを直して欲しい	
その他の機関・団体にお願いすること	
中央住宅の近くにコンビニがあったら良いのにねー	
地域の特色	
仲の良いお年寄りが多い事	駅に近く利便性が良い
集会所を有意義に使えるように	子供が少なく高齢者が多くなってきた

三小地区・地域の暮らしを話す会

日時：平成 28 年 3 月 6 日（日） 10 時 00 分～11 時 30 分

場所：旭町会館

参加人数：24 人（旭町 7 人、新町 7 人、春日町 10 人）

参加スタッフ：社協 4 人（地区担当、包括、基幹）、市障害福祉総務課 1 人

旭町

高齢者にかかわりやすい町造り

個人で取り組むこと	
高齢者への声かけ	以前協力員として携わっていた方にもサロン等の声かけをする
高齢者とは？	自分も高齢者
地域で取り組むこと	
いきいきサロン等お誘い	近隣の方々との何気ない挨拶や会話
町民全体へサロンのお知らせ	日々の安否
いきいきサロン参加者を増やす （会場の都合で 2 回にわけると）	土曜日（昔遊び） 子どもと高齢者が会館で一緒に遊ぶ
旭町カフェの活動を知らず。楽しい親交に！	高齢者の手作り作品をカフェで販売
近隣との話をする事で防犯予防	行事等広くお知らせる為掲示板の利用を考える
高齢者の定義づけ説明	
行政にお願いすること	
保健センター等サロンへの協力	三小校庭の桜を楽しむ
その他の機関・団体をお願いすること	
旧 26 で看護学生がゴミを捨てるので学校に一言いえないのか？	

※看護学校でも道路のゴミ拾い活動をされているそうです（町会長より）

新町

住民同士のつながり

個人で取り組むこと	
玄関灯を点灯しましょう	野良猫にエサを与えない
煙草の投げ捨てやめよう	

地域で取り組むこと	
月1回程度のミーティングを開催する	長生会館にてミニミニスーパーを誘致する
会館の利用（〇〇教室など）増やす	町会にて班長会議を開く
班長・月当番の順番がわかりますか	ＬＥＤ灯に交換してほしいか
今でも犬のフンをとらない。同じ人だと思う	近隣に大きい犬を何匹も飼っていて困っています
溝にゴミを捨てるな	
浜にたくさんのゴミを捨てている所がある	川・溝にゴミを捨てて困る
町に入会していない方にも会費は徴収する	ゴミ回収のルールが守れない
行政にお願いすること	
猫のフン	カラスのいたづらに困っている
瀬戸物・傘等月に1度無料で取りに来てほしい	（ゴミ袋）単身１０ℓ袋だが３０ℓ袋欲しい
その他の機関・団体をお願いすること	
町内に店舗が少ない。	空き家が近くに多く用心が悪い
三小に合同学級ができる	登下校の子ども達に声をかけよう

春日町

挨拶の交わす町・地域

個人で取り組むこと	
すれちがった人におはよう	高齢者に挨拶をすすんでは あついなー寒いなー
地域の子ども（小中学生等）への声かけ（あいさつ）	
広報回覧を配る時に一声をかける	積極的に言う事
地域で取り組むこと	
挨拶運動	ラジオ体操
町内で会う人にあいさつ	挨拶を交わす週を決める
行政にお願いすること	
駅・町角で挨拶運動	空き家の整備
その他の機関・団体をお願いすること	

末広地区・地域の暮らしを話す会

日時：平成27年11月10日（火） 19時00分～20時30分

場所：東羽倉崎南町集会所

参加人数：29人（東羽倉崎南町6、東羽倉崎町6、長滝第一住宅1、新安松7
東羽倉崎自治会4、羽倉崎上町5）

参加スタッフ：社協3人（地区担当、包括、基幹）、CSW1人、行政1人

東羽倉崎南町

南町をよくしていくためには

個人で取り組むこと	
声かけと親切心ルールを大切に	美化運動気が付けばゴミ、糞を拾う
あいさつをするご近所づきあいをよくする助け合い！	
地域で取り組むこと	
協力員やボランティアをしてくれる人がない	
少しでも気掛かりな方に見守りの強化をする	
子ども達のあいさつがたりないことや自転車置き場の件	
継続である美化運動と普通のゴミ出し	活気のある町にしたい
各個人、各棟と自治会との連携強化、報、連、相	
行政にお願いすること	
新しく入居する人の選別を考えてほしい。外国人が多くなっていませんか？	
道路の補修をしてほしい	住宅へ若い人を入居させてほしい
階段のエレベーター設置	高齢者の入居がおおいので考えてほしい
ネコの問題餌付けをしない当人に話をする	ルールを守れない者への対処
安否確認の出来ない方の住居のカギの問題	
その他の機関・団体にお願いすること	
羽倉崎交番を有効活用する	

東羽倉崎自治会、長滝第一住宅

支えあいのまち

個人で取り組むこと	
マナーを守るよう声をかける	お互いの声のかけあいをする
赤ちゃん～大人まで自分から声をかける	隣の人々と仲良くする

高齢者になるべく外へ出るようにしたい	友達を多く作る
ほほえみも大事	おしゃべりをする外で子ども、若い人など
外でおしゃべりをする（子ども、若い人）になど	
地域で取り組むこと	
前回もあったが新入居の方々の表札がほしい	
団地は多様な事が有り過ぎて大変な事も有ります	
場所によって問題点が違ってくるので難しい事がある	
集会場を解放して使用方法を考える。モーニングサービス（コーヒー、サンドイッチ）	
ふれあいの場をつくる	
行政にお願いすること	
介護に入っているホームヘルパーに介護者の変化があれば民生委員に連絡できれば	
気楽に集まれる場所がほしい	子どもの遊び場が少ない
役所の方がにがてな人もいるので私達ともしっかりコミュニケーションを取って欲しい	
その他の機関・団体をお願いすること	
防犯上警察の巡回を蜜にしてほしい	エレベーターに防犯カメラをつけてほしい
施設の見学など、認知症のことなど話を聞いて考えたい	

新安松

町会の活性化

個人で取り組むこと	
お互いのあいさつ	ゴミ出しのルールを守る
積極的に町会行事に参加する	犬の鳴き声が迷惑
猫の糞や、尿、エサやりの迷惑	防犯パトロールの実施
町会への加入がすくないので心がけで共に参加し人数増に	
地域で取り組むこと	
町会の関心を持ち積極的な参加	運動会などの町内会の交流を行う
班長の連絡会を行う	横のつながりを大切に
住民の意見を聞いて知恵をもらう	町会の情報が少ない（PR 不足）
地域で突発事すぐに顔をあわせて対処する	気になることがあれば声掛けをする
行政にお願いすること	
末広公園の施設照明を増やしてほしい	警察のパトロール
問題解決の糸口を見つける	市民サービスの低下よくまたされる
町会館使用料の補助金	コミュニティバスの増便と逆回り実施
カラスが増えてきたので対策を教えてほしい	

地域の子どもに対する学校からの情報がほしい	
その他の機関・団体にお願いすること	
自転車の雨の日のマナー	困りごとの聞き取り方
市民検診を集会所等で土、日利用出張で	衣料品等の購入と不便対策

東羽倉崎

どうすれば住みやすい町になるか

個人で取り組むこと	
表札をあげる	まず挨拶をする
ゴミすてのルールをつくる	
地域で取り組むこと	
地域で新しい行事を始める	町会に入会する
空き家のあるところが困る	
新しい行事をふやして活性化する→みんなが集まれる場所と機会をつくる→地域の人と曜日を決めてウォーキング	
行政にお願いすること	
市から不動産業者に町会加入の必要性存在を話してくれると助かる	
町会に入るメリットをもっと市民に伝える →活動促進袋の枚数 2 人住まいと 8 人住まい同じ枚数なのはなぜ？	
市役所まで遠くて行きにくい→出張所があるといいな→週に 1 回定期的にきてほしい	
外灯なぜ 20 メートルおきなの？	



羽倉崎上町

「つながるしくみ」をつくろう

個人で取り組むこと	
町内会に入会する	各種団体のどこかに入ること
年配の人が若い人に声をかける	隣近所と仲良くする朝のあいさつ
大人から子供に声をかける	男の人の参加がない
自分の町のことに興味を持ってもらう	
地域で取り組むこと	
団体間の交流が必要	年末の夜回り
男女が一同に集まれる行事をする	
模擬喫茶店を月に何回か開き男女が参加できる場所をつくる	
つながる為に子ども会の役員から何名か福祉委員に入ってもらう	
行政にお願いすること	
警察署の協力（巡回数）	町内会入会行政指導
その他の機関・団体をお願いすること	
障がい者施設と町内会とのつながり	年 1 回社協より来てもらって福祉委員の説明をしてもらう

一小区・地域の暮らしを話す会

日時：平成 28 年 2 月 19 日（金） 19 時 00 分～20 時 30 分

場所：羽倉崎町会館

参加人数：38 人（西本町 7 人、松原町 3 人、元町 4 人、笠松 3 人、
野出町 3 人、本町 5 人、松原住宅 6 人、羽倉崎 7 人）

参加スタッフ：社協 4 人（地区担当、包括、基幹）、市障害福祉総務課 1 人

元町

福祉を支える人づくり

個人で取り組むこと	
高齢者に対する声かけ	近所づきあいを進める
地域で取り組むこと	
登下校の見守り	子どもにあいさつをする
活動内容の学習会	各団体のつながりをもつ
町内でイベントを増やす	
行政にお願いすること	
監視カメラの設置（のように、補助金をだす）	ボランティア活動に助成金を増やす
その他の機関・団体をお願いすること	
長生会カラオケクラブに積極的に参加してもらう	
若いボランティアさんを集める	

羽倉崎町

活気ある町づくり

個人で取り組むこと	
あいさつ	挨拶のみでの会話でなくともう少し深く会話したい
自主的に挨拶をする	
近所の方へのお誘い	参加する
夏祭り・秋祭りの参加に協力	

地域で取り組むこと	
町会未加入の人も参加してもらっては？	防災訓練連絡網を作り実践訓練する
老若男女が参加しやすい行事づくり	参加しやすい催し等する
だんじり祭りをもっと活発に	子どもが少ないので近くの町に子どもの参加要請
だんじり祭りにお年寄りの席を作る	
家から出ない子どもをいかに外で遊ばせるか	少子化傾向なので子供会に助成を強化する
町会への加入をすすめる	美化運動もっと参加してもらうように
美化運動などのボランティア活動で住民の交流を深める。	親子で美化運動に参加してもらう
行政にお願いすること	
町を明るくするためLED化を進める	町内有線設備
公園設備の整備	
その他の機関・団体をお願いすること	
他町との交流	会館のサークル活動をもっと住民にPRする
子供会の参加者を増やす	育成会の活動の向上

野出町

コミュニティバスについて

個人で取り組むこと	
コミュニティバスを皆で利用して改善をたのもう	
地域で取り組むこと	
利用者の声をきく	利用実績を集計
行政にお願いすること	
便数を増やしてほしい	コースの見直し
行きは良いよい、帰りはこわい	
その他の機関・団体をお願いすること	
南海バスと連携できないでしょうか？	日根野の駅には止まりますがイオンまで行きたいです。

西本町

地域の活性化

個人で取り組むこと	
声かけ	隣近所の和 大切に
自主防災の設立	
親が役員になる人がいない	子供会に入る子供が少ない
地域で取り組むこと	
餅つき	他町とのつながり
町会へお誘いする	ラジオ体操
行政にお願いすること	
校区わけ	盆踊りの予算
高齢者にもお金もうけを教えてほしい	
その他の機関・団体をお願いすること	
盆踊り	地域で保存会

本町

町内の活性化

個人で取り組むこと	
行事参加	危険な所の通報
ペットのマナー	
地域で取り組むこと	
各イベントの実施	防災組織の立ち上げ
行政にお願いすること	
各イベントの実施にともなう補助金	土丸・犬鳴線の早期着工
市民税を下げてほしい	
子育て世帯への支援	町会員配布ゴミ袋増やしてほしい
溝の整備（不法投棄があるため）	
その他の機関・団体をお願いすること	
カラオケ時に余興にセミプロを呼ぶ （町連合で）	（身近な場所での）健康診断 （簡素な所）

松原団地住宅

地域の困りごと（マナー）

個人で取り組むこと	
玄関チャイムを押しても出てほしい	表札をかけてほしい
あいさつ運動の徹底	あいさつをしましょう
ゴミ出しのマナー	目に見えるゴミは捨てる
団地内での清掃を各人が心がける	タバコのポイ捨てが多い
ポイ捨てをしない	玄関前をきれいにすること
犬猫をかわない	迷惑行為をしない
路上に車を置かない	自転車のマナー
地域で取り組むこと	
ハト対策・ふん害	団地のまわりにゴミをすてる（のが困る）
団地の決まりごとは大事。	ゴミ出しきっちり守る
回覧をまわしてもらう	見回りパトロール
高齢者の見回りをする	動けるときは近所の方と顔を出し合う
話し合いをする	
行政にお願いすること	
ゴミ袋を安くしてほしい	粗大ごみの回収をしてほしい
貼り紙をはる	
その他の機関・団体をお願いすること	
警察に見回りをしてもらう	迷惑駐車を取り締まり

笠松・松原

活動の担い手

個人で取り組むこと	
高齢者 特に男性の参加	催しは多数の人に参加を誘う
近所の人に声をかける	他人任せでなしに役割とうけとめる
町会行事に積極的に参加する	自主的に町内会行事に参加する
役務・行事が多すぎる印象がある	地域の人々の輪を広げる
有償化は可能か	本人におねがいする
地域で取り組むこと	
町会で色々な催しを考える	町会館の利用（サロンをする）
気軽に集える場所を作る 長生会、一人暮らしなど	
町内会を充実させる	子ども達の保護者の参加 登下校の時

町会への行事への参加を進める	町内団体等の意見も聞く
町役員を中心に支部団体に話し合いを	役員の人材確保に全組織で取り組むこと
町会報の充実	町会員に町会全体の活動を知らせる
女性にお願いする	若い世代の町内会への参加
お互いに隣接する町会と交流する	校区で組織作りを考える
行政にお願いすること	
運動場、体育館などの開放を 例) ソフトボール、バレーなど	
町会員の加入率を向上するためのどんな取り組みをしているか	
学識者を町内に引き出す	情報の提供を！
今の施策の検証	
行政の行事が多すぎる	行政が組織作りについて指導
市の条例で町会加入を義務化する	婦人会を復活させる施策を
その他の機関・団体にお願いすること	
町会連合会で支部団体を維持するための話し合いをしてください	他町とのふれあいの場をつくる
校区単位で組織維持について検討する	一小校区連合化する
機関団体も町会組織維持について考える	全体的に定年が延びてきた

長滝地区・地域の暮らしを話す会

日時：平成 28 年 2 月 10 日（水） 19 時 00 分～20 時 30 分

場所：長滝第Ⅰ町会館

参加人数：36 人（中ノ番 8、東ノ番 11、西ノ番 13、長滝住宅 4）

参加スタッフ：社協 3 人（地区担当、包括、基幹）、CSW1 人

中ノ番

みんなで「安心・安全のまち」をつくろう！

個人で取り組むこと	
あいさつをしあう	常に観察眼を持って行動する
各家庭内での危険場所のチェック	ゴミをすてない
道に物をおかない	
カラオケ店を応援（地域のコミュニケーション老人憩いの場）	
個人商店の存続を（買物弱者地域のコミュニケーション維持情報交換のため出来るだけ利用する）	
地域で取り組むこと	
町内のハザードマップの作成	通学路のリスクアセスメントを実施する
あいさつ運動の促進	
町内会の雑用を減らし町内会を中心にどうすれば良いか検討、実行する	
神社・寺に感心を！（心のよりどころ、老人の交流、地域文化の尊重）神社費に協力を！	
行政にお願いすること	
空連道のゴミ対策、分担があいまい	各種防災対策の教育（火災対策、救命対応）
防犯カメラの設置（伊丹市の取組み）	危険場所の信号機の増設
その他の機関・団体をお願いすること	
粗大ゴミは無料か又は、家電四品目は処理費を購入時込みとする	
防災マップに危険ヶ所など記載するが、少しは修理など入れてほしい	

東ノ番 1

地域の助け合い

個人で取り組むこと	
町内会の行事は進んで参加	あいさつをする
近所の人顔も知らないではいけない	毎日のあいさつを行う
井戸端会議がなくなった	大きな声であいさつをする
地域で取り組むこと	
隣組未加入の人の組織化	御不幸通知の連絡を密にする
町内会の行事に参加する	近所の助け合い
隣組の協力	未加入の人の入会
行政にお願いすること	
補助金（行事）出してもらう	町内会に加入してもらう
65 歳以下の一人暮らしの人への対応	防犯カメラの設置
その他の機関・団体をお願いすること	
無人駅をなくす	町内会加入のメリットを作ってもらう
駅前に灰皿をおいてほしい	駅前をもっと明るくする事

東ノ番 2

ゴミのすて方

個人で取り組むこと	
分別の方法を徹底する	あふれたゴミを拾って、袋に入れる
カン・ビンのポイ捨ての注意	タバコのポイ捨ての注意
よそからゴミを置きに来る人の注意	
地域で取り組むこと	
ゴミ袋をしっかりと閉じること	野良猫にエサをやらない
プラなどちがう日に出してある（決められた日に出してほしい）	
行政にお願いすること	
犬猫のフン	カラスが袋を破りちらかす
他所の人が車で持ってくる	
その他の機関・団体をお願いすること	

西の番 1

少子化

個人で取り組むこと	
親子関係の見直し	いじめをなくす！
女性の働きやすい環境作り	
家族を大切にする。特におじいさん、おばあさん	
ご近所さんとのコミュニケーション、情報交換	
地域で取り組むこと	
女性の働きやすい環境作り	合コン♡
子どもが楽しめる行事を増やす	地域の魅力作り
各年代の団体の充実	いい祭りをする！！
婚活	
行政にお願いすること	
給付金を設け家計の支援	共働きができる環境整備
色々な手当ても増やしてほしい	一人親家庭に手厚く
保育所を増やす	保育所の充実
経済格差の解消	子どもを産んでも育てられる賃金を
保育園、幼稚園の無料化	企業の誘致化
ベッタウン化する	
その他の機関・団体をお願いすること	
ベッタウン化	企業の誘致化
子どもの見守り体制の強化	教育レベルのアップ
学童が高い！もっと安く！	
保育所、小学校子どもの預かり時間の延長 pm9:00 まで	

西の番 2

町会・福祉・青年団の体制等各種団体の強化

個人で取り組むこと	
身近な人から声をかけていく	情報の共有
町会に入っていない人の勧誘	協力員に日頃から接触する
協力員さんの事を知らない人が多いので近所の方や友人に出会った時に声をかける	
地域で取り組むこと	
役員だけではなく、広くアピールする	役員以外に関心をもってもらう
役員に、責任仕事がかかりすぎ	各、活動内容を、回覧でまわし紹介する

民生委員の活動内容を紹介する	今日の話し合いを広めるアピール
町会に入っていない人をどうしていくか話し合い	
隣組の組長会議等でもかけて行くようにする	
行政にお願いすること	
ボランティアの出張養成講座	この会の早期発表を（１年後では遅い）
その他の機関・団体をお願いすること	
重要な点からまとめて話し合う	各種団体イベント、つながりを作る
民生委員の任期は一期三年ですが、今二期する様ですが一期を基本にしてほしい	
民生委員を一期にすると、一人でも多くの方に役を引き受けてもらいたい	
町会、福祉、青年団等各種団体の協力体制	

長滝住宅

地域の美化

個人で取り組むこと	
ゴミ出しは、決められた日の朝に出す	道に落ちてゴミを片づける
ペットボトルをほらないで	駐車場にタバコを捨てる
食べた袋をほかさない	犬の糞をさせないようにする
野良猫に餌をやらないように	バイク等の音を静かにして欲しい
ボールを屋根に投げないように	月一回ゴミ拾い出てこない
地域で取り組むこと	
車のいたずらが時々ある	ノラ猫が多い
スピーカーの音が場所によって聞こえない	老化で役員になる人がいない
サッカー禁止になっているが今でも時々やっている	
行政にお願いすること	
町会に入っていない人のゴミ袋はどうするか	コミュニティバス日曜も運行してほしい
土曜日はゴミ車が早いのでゴミを遅くに持ってくる	
ゴミ出しの分別をもっと詳しく説明してほしい	
駐車違反住宅内は警察が動いてくれない	
その他の機関・団体をお願いすること	
野良猫に餌をやらないでください	花の苗を地域に欲しい

上之郷地区・地域の暮らしを話す会

日時：平成27年12月17日（木） 19時00分～21時00分

場所：上之郷小学校 多目的室

参加人数：16人（母山3人・女形1人・下村2人・郷田1人・机場2人・上村2人・中村3人・学校関係者2人）

参加スタッフ：社協3人（地区担当、包括、基幹）、CSW1人、行政1人

母山・女形

地域の情報

個人で取り組むこと	
近所の人の状況	ご近所の情報交流
他人に頼らず自らチラシや回覧を見るようにする	
地域で取り組むこと	
地域のサロンでニュースとして知らせる	共通の話題作り
回覧板をこまめにする	あいさつ声かけ
情報発信の工夫・報告。人の顔が見える	
連絡委員を決め、毎日変化があれば各家庭に連絡する	
地域での行事に参加し（義務）コミュニケーションを深める	
行政にお願いすること	
市役所の担当課の課長名	生活の困りごとの解決の仕方
ひとり暮らしのおうちへのサポート	
その他の機関・団体をお願いすること	
世代をこえた集まり	掲示板に張り出して住民に知らせる
新聞でご逝去のお知らせがのる県もあるが、葬儀屋さんの協力	

下村・郷田・机場

不法投棄

個人で取り組むこと	
不法投棄しないこと	ポイ捨てをしない
見かけたら注意する	自分が不法投棄しない
不法投棄している者に注意する	大きなゴミを発見したら市に通報

地域で取り組むこと	
地域で行う一斉清掃、川堀り等でみて回る	1 年に 1 回はそうじ活動をする
地域で定期的な見回り	
行政にお願いすること	
市等にお願いし策を練ってもらう	よく捨てる場所に看板設置
樫井川にそって定期的に巡回してください	防犯カメラの設置
その他の機関・団体をお願いすること	
処罰を厳しくする	フェンスの設置
義務教育等で、ゴミ(粗大ゴミ)について環境教育をおこなう	

上村・中村

町会加入を促進するために

個人で取り組むこと	
町会加入者と未加入者との絆づくりが必要	誰とでも挨拶して心をつなぐ
イベントの検討	町会の役割の PR
若い世代への加入促進に繋がる等	加入・未加入の更なる差別化を示す
地域で取り組むこと	
従来からの住民と同じことを求めない	行事ごとへの参加要請
町会に加入を一人でも多く	未加入者に町会加入のメリットを伝える
掲示板を資料してなんでも PR してみる	町会活動の PR
集合住宅はオーナーからの促進	加入金の免除
行政にお願いすること	
町会活動の紹介	市からもっと加入アピール
その他の機関・団体をお願いすること	
ぬくもりの郷情報誌を未加入者宅に配布する	
子ども会に入って、町会に入っていない人に子ども会より PR してもらう。	
町会から脱会しないことも考える	

大土地区・地域の暮らしを話す会

日時：平成 28 年 1 月 30 日（土） 19 時 00 分～20 時 30 分

場所：大木小学校

参加人数：32 人（大木 24 人、土丸 8 人）

参加スタッフ：社協 3 人（地区担当、包括）、CSW1 人、行政 1 人

毎年来てるでえ～チーム

大木の活性化

個人で取り組むこと	
盆踊り行事に参加する	祭り行事に参加する
ご近所さんと仲よくする	地域事業者の仕事を発注する
子どもを増やす・子作りをする	
地域で取り組むこと	
祭りを盛り上げるのに組織を作る	大土ブランド米を作る
新たな地場産業を作る	町内の交流を深める為に餅つき大会をする
かんこう農園を作る（しいたけ・イチゴ・栗拾い）	
行政にお願いすること	
空き家を貸す	空いてる田んぼを貸す（貸農園）
空き地の再整備、貸農園の整備をすることで地元企業が潤う	
土地を町が買い取り企業の誘致	
その他の機関・団体をお願いすること	
アミューズメント施設などの誘致	集団の見合いをする
いのししなどを捕まえていのししバーガーを売ってもらう	
自然をいかして溪流釣り場をつくる（ニジマス・アマゴ）	

OOG～大木応援ガールチーム

景観

個人で取り組むこと	
犬のフンは持ち帰るように	ゴミや空き缶を拾う
ボランティアに協力する	薬草の栽培 わらび
そば畑をつくりましょう	

地域で取り組むこと	
観光化する	大木の歴史勉強会
駐車場の確保	駐車場の整備
公園を作る	長福寺の活用 コスモスなど
祭りを盛り上げる	各種団体で分けてお世話をする
コンビニをつくって欲しい	
行政にお願いすること	
バス券配布は 65 歳以上にしてほしい	山手にもコミュニティバスを
バスの補助券	バスを安くしてほしい
病院を作してほしい	案内ボランティアの育成
上大木の棚田をもっと整備してほしい	
70 歳以上のバス補助券の枚数を増やしてほしい	
その他の機関・団体をお願いすること	
花苗木の苗定期的配布	草刈りをする
村おこし名物を作る	宣伝をする

チーム女子会

住みやすい町づくり

個人で取り組むこと	
ひまわりさんの保護者への声かけ	コミュニケーション
声かけ	すばらしい大木小学校の PR
地域で取り組むこと	
自治会等に支払う金額の見直し	人足（出不足含む）
空き家の利用	
行政にお願いすること	
バス券発 高齢者だけでなく子供にも	調整区域の変更
防犯灯の数を増やす	宅地の増加
その他の機関・団体をお願いすること	
バスの本数を増やす	バス代が高い

極楽チーム

魅力ある地域

個人で取り組むこと	
子どもに声をかけよう	ゴミ等の無い町
町内会のイベント（花火・バザーなど）に積極的に参加する	
地域で取り組むこと	
良い景観を守る	子ども参加の交流会を（どの子どもさんか）
空き缶・吸い殻等を道に捨てずに自然環境を大切に	
防災訓練を通じて住民との交流を図る	
行政にお願いすること	
生活道路を歩きやすく！！（かまぼこ板は×）	調整区域をはずして欲しい
街灯を増やしてほしい	三世帯住宅に補助金を
その他の機関・団体をお願いすること	
特産品を考える	

チーム Barabara

花満開～にぎわい割り～

個人で取り組むこと	
花の提供	休耕田に花を
地元特産品の販売	個人の空き地等の提供
地域で取り組むこと	
土地の提供	地元特産品の販売
場所の選定	管理(水やり)桜 ひまわり コスモス レンゲ
協力者の確保	大木ブランドの確立
行政にお願いすること	
種・球根の提供	助成金よこせ
全面的支援	情報提供 PR
駐車場確保	交通整理
その他の機関・団体をお願いすること	
トイレの確保	

長坂地区・地域の暮らしを話す会

日時：平成 27 年 9 月 8 日（火） 19 時 00 分～20 時 30 分

場所：次世代育成地域交流センター

参加人数：34 人（新家町 6 人・鶴原東町 7 人・貝田町 6 人・泉ヶ丘 9 人
新泉ヶ丘 1 人・下瓦屋南町 4 人・鶴原北住宅 1 人）

参加スタッフ：社協 4 人（地区担当、包括、基幹）、CSW1 人、行政 1 人

泉ヶ丘

地域の絆づくり

個人で取り組むこと	
人に優しくする・話かける笑顔で！	出来るだけ外に出ること
花緑等の知識を相互共有	声かけ運動
子ども見守り隊	
地域で取り組むこと	
青パトの活用	共通の話題づくり
高齢者を外へ	花と緑の同好会
地域の行事には参加する交流を深める	ラジオ体操を週 2 回皆でやる
毎日ウォーキングを友達さそってする	花づくり野菜づくり
防災訓練	地蔵盆世代間交流の場
町内お花見会	歓蓮会
お料理を作って食べる	
行政にお願いすること	
駅前ロータリー芝生の管現・芝刈り	講演の掃除管理をお願いしたい
ネコのエサやり禁止条例	空き家対策
公園の手入れ	庭木が道まで出て車が通りにくい所がある
不在地区対策	
その他の機関・団体をお願いすること	
小中学校と地域との交流	高齢者と子供たちのふれあいの場を作る
1 カ月に 1 回ボッチャ会を作ってほしい	

貝田町

地域の困りごと（マナー）

個人で取り組むこと	
ゴミ出し日を守る	ゴミ捨ての日を守る
ゴミは個人で処分	空き缶等を見つけたら拾う
犬のフン捨て	ごみの前日出し
ゴミ捨て被害の対応	家の周りの掃除
不法投棄の警察への通報	隣とのもめ事
地域で取り組むこと	
困りごとをまとめ町内会にあげる	見守り
防災訓練の実施	グループで巡回
定期的に巡回	マナー見張り番のグループ作り
実態の周知	お互いの声掛け
墓地の掃除	町会への不参加
行政にお願いすること	
不法行為の取り締まり	不法ゴミの中身の調査
ゴミ置き場の再考	ゴミ回収の増日
対策用の看板の提供	墓の花ぬかないよう周知
定期的な見守り	補助金の増額（LED 等）
災害時の避難マニュアル	
その他の機関・団体をお願いすること	
警察の見回り要請（無人建屋内）	マナーの講習会
道徳教育の更なる推進	要支援者支援体制作りの支援
福祉委員会支部活動費の増額	研修交流会講師派遣

下瓦屋南町

支え合う仕組みをつくろう

個人で取り組むこと	
あいさつをしよう	世代をこえた交流をつくろう
暮らしやすい地域をつくろう	家より出て人と出会うおしゃべりをする
地域で取り組むこと	
子供達を巻き込んでイベントを考えよう	子ども高齢者の見守り
高齢者の安否確認	若い人との交流を作ろう
老人同士の声掛けをしましょう	保育園児との交流

市報配布	クリーンクリーン活動
町内の掃除に青年団の人達が多く参加をしてくれている	
1 歩前へ出てまず言うよりは事実行する	
行政にお願いすること	
なし	
その他の機関・団体をお願いすること	
なし	

新家町

住みよい町作り

個人で取り組むこと	
町・道がきれいでありたい	出来るだけ行事に参加する
犬のフンのない町	ペットのマナーをよくする
あいさつのある隣近所	ポイ捨てしない町
近所のことをもっと知る	声掛け運動
近所への気配り	見守り
地域で取り組むこと	
町会全体で参加出来る行事があれば	行事に子供の参加が少ない
多くの人と交流できる場を作る	防災訓練を町会でお願いします
災害が起こった時の連絡の組織作り	伝達方法を教える
子供会が休会のため子どもの参加が少ない	笑顔であいさつ
町内会行事にもっと参加するように	町を明るくする
災害発生したらどこが一番安全か	
行政にお願いすること	
タバコの吸殻を溝に捨てて困る	市民税を安くする
防犯カメラを増やす	交通の便利をよくしてほしい
コミュニティバスの便を多くする	高齢者一人暮らしの方に親切にする
町内会にあまり負担をかけないで	補助金増やしてください
バスの回数を増やして欲しい	地域にお金をかけて欲しい
その他の機関・団体をお願いすること	
防犯カメラを増やす	災害こないで！
住民座談会を多くの人に知って頂き参加してほしい（若い世代の人にも）	
ゴミのない町	もっと色々な人達に参加する様に

鶴原東町

防災

個人で取り組むこと	
水や食糧の準備	避難経路の確認を普段から
防災グッズの準備	家具その他を固定する
離れ離れになった時家族で話し合う	
地域で取り組むこと	
高齢者を把握する	連絡網作る
避難場所つくる	防災マップの作成
補助員決める	
行政にお願いすること	
防災備品の確保	簡易トイレの設置
予算の確保	
その他の機関・団体をお願いすること	
防災について専門員に来ていただく	避難訓練の実施

鶴原北住宅・新泉ヶ丘

住民が積極的に参加するには

個人で取り組むこと	
仕事と両立して地域に活動する	わからないことは役員なり隣の人に聞こう
役にあたるとその1年はがんばろう	町会の行事にはでてね
地域で取り組むこと	
イベントをたくさんする	イベントを盛り上げる
若者にやさしく	子どものイベントが難しい
行事参加のルールづくり	
行政にお願いすること	
町会のアピール	府にきちんと管理をしてほしい
全部町会にまかすな	
その他の機関・団体をお願いすること	
住民の高齢化を防ぐために若い世代の住民の入居	

日根野地区・地域の暮らしを話す会

日時：平成27年11月14日（土） 19時00分～21時00分

場所：日根野町会館

参加人数：38人（東上6人、久ノ木2人、中筋5人、西出2人、西上6人
野口3人、新道出4人、野々地蔵6人、俵屋4人）

参加スタッフ：社協3人（地区担当）、CSW1人、行政1人

東上

住民同士の繋がり（コミュニケーション）防災時について話し合う

個人で取り組むこと	
人と人のあいさつ	高齢者への取り組み方（声かけ）
あいさつ運動	災害時の避難ルート場所の確認
声かけあいさつをする	町民が避難経路を確認
近所の付き合いを大切にする	隣近所の人員の確認
地域で取り組むこと	
定期的な防災訓練	防災訓練に取り組む
手助けの必要な人への支援	町内の掃除
定期手クリーン運動	高齢者が集まる場所が出来るようにする
地域のセミナー	
災害時の役割分担についてシミュレーション	
行事の後お昼を一緒にしてコミュニケーション	
行政にお願いすること	
消防署の方が来ての訓練等	行政が持っている情報の共有
情報の交換会(定期的な)を開催	避難訓練
その他の機関・団体をお願いすること	
買い物不便(コープなどに助けて頂く)	社協

久ノ木・野口

交通マナーの向上と安全な町作り

個人で取り組むこと	
余裕を持った運転	道路上のゴミを片づける
信号を守ること	自転車のスピードの出し過ぎ注意
地域で取り組むこと	
狭い交差点で立つ	安全運転講習会の実施（意識向上）
防犯灯の増設	地域(町会)の防犯マップの作成
通学路から外れている一人歩きの児童の保護方法	
行政にお願いすること	
標識の設置	カーブミラーの設置
新しい道路を作る	生活道路への侵入を少なくする
中学校に裏門を作る（分散）	
幹線道路の信号システムの変更（スムーズな走行）	
その他の機関・団体をお願いすること	
パトカーでの巡回を多くしてほしい	町内会・PTA の朝夕の通学路
通学時3人が横になって歩いているが危ないので1列になるように気を付ける	

中筋

交通事情を良くするには

個人で取り組むこと	
木や草を刈り見通しを良くする	自転車は必ずライトをつける
車より自転車を利用する	時間に余裕を持って出かける
80 歳以上は免許を返す（運転しない）	自転車の無灯火が多い
夜外出するとき反射板を着用するように！	
地域で取り組むこと	
スピードを落とす看板を掲示する	スピード表示をしてほしい
街灯が少ない暗いところが多い(野口?)	駐車違反を無くす
飛出し注意の看板をたてる	カーブミラーを作してほしい
見通しの悪いところにカーブミラーを付ける	
行政にお願いすること	
重量制限をしてほしい	歩道をつける
カーブミラーにくもり止めをする	
交通事故の加害者、被害者になった時の体験談を聞かせる	

その他の機関・団体をお願いすること	
話しながら列を作らない	歩道より内側を歩く
通学路をはみ出さない	交通ルールをまもる
スマホをしながら歩かない	出来る限り交通機関（バス等）を利用する
地域住民に下校時刻を知らせ少しでも車の量を減らす	
車に乗らなくてもいいようにバスの本数を増やしてほしい	

新道出・西出

町会加入促進

個人で取り組むこと	
未加入の方と友だちになる	自分自身も楽しんでなんでも参加する
子ども、父兄などのつながりを増やす	声かけあいさつ
地域で取り組むこと	
子どもの見守り	子ども会の入会をすすめる
季節で行事をする	老若男女で楽しめる
子どもから大人まで参加できるイベント	楽しいイベントを考える
子どもから高齢者まで楽しく集まる機会を増やす	
行政をお願いすること	
町会費の市負担	町会活動のビデオ・冊子を作る
加入者未加入者に対する防災の在り方	町のイベント等に対する市からの補助
防災組織の在り方	
町会加入メリットの政策を増やしてほしい（ゴミ袋の他に）	
その他の機関・団体をお願いすること	
小中学校で父兄の方への町会加入のメリットを説明してもらう	
市報等を取りに来た人に市役所から加入促進をしてもらう	

西上

町会加入率アップ

個人で取り組むこと	
個々人の啓蒙	役員やって楽しかったことを口コミで
盆踊りを活用して	役員を辞めても顔を出す
地域で取り組むこと	
加入者への案内書作成	町会の魅力アピール

西上町会の最新加入者マップの作成	掲示板に加入促進ポスターを貼る
盆踊り見学場所の整備	盆踊りへの指導（青年団）
行政にお願いすること	
転入時の町会加入案内促進	組長の負担軽減
固定資産税の軽減（町会加入者のみ）	軽自動車税・バイク税の軽減
その他の機関・団体をお願いすること	
転居時不動産業者に加入促進	

野々地蔵

町会加入率をアップするには

個人で取り組むこと	
隣の人(非加入者)との挨拶から始める	知らない人にもあいさつをする
あいさつをする	
町内会に入ったら良いことがあると入会をすすめる	
出来るだけつながりを作れるように努力する	
地域で取り組むこと	
町会活動を理解するための話し合いをする	町会のイベントを増やす
町内活動の目的を PR する	町会館を利用しやすくする
子ども会、友の会をもっと充実させる	災害時に町会に入っていない人をどう扱うか
町会に入りたくなるような取り組みをする	入会金を下げる
町会加入のチラシを作って配布する	町会未加入者の人と交流する場を設ける
クリーングリーン作戦は町内住民の全体参加です	
認知症予防の体操の必要性を知らせ定期的に取り組む	
夏休みに子ども会(町内会)でラジオ体操をする(親子同伴で)	
子どもの見守りは町の住民全員です。学校の PTA 等で取り組む	
行政にお願いすること	
町会未加入に市も一緒に努力する	学校で町内会の大切さを教える
これから生活する子どもたちを育成する	
町会加入したら鹿野補助があるなどの支援がいる	
その他の機関・団体をお願いすること	
買い物支援等成果があればこの集会でも PR のスライドを見せて欲しい	

個人で取り組むこと	
町会加入のアイデアの提供	色々な活動を知らせる掲示板
町外の方にもあいさつ、コミュニケーションを心がける	
地域で取り組むこと	
町会に加入世帯を増やす取組検討	町会で友人が少ない
町会に入会のメリットがない	町会会員数が少ないので役が多い
町会に加入した場合の会費寄付等の負担軽減に取り組む	
行政にお願いすること	
町内会加入の促進	町内会加入促進
各種団体の数が多く掛け持ち役などをして負担が大きい	
その他の機関・団体をお願いすること	
未加入の理由等アンケートの調査依頼	



南中地区・地域の暮らしを話す会

日時：平成27年9月4日（金） 19時00分～20時30分

場所：南部市民交流センター

参加人数：37人（安松11、岡本10、樫井西10、樫井東6）

参加スタッフ：社協3人（地区担当、包括、基幹）、CSW1人、行政1人

安松

防災について

個人で取り組むこと	
あらかじめ避難場所を決めておく	防災グッズを用意する
非常食を用意する	高い所へ逃げる、机の下に隠れる
地震の時に家具の固定を考える	携帯の電源を用意する
地域で取り組むこと	
定期的に防災訓練	地域内の災害弱点をあらかじめ調査する
避難場所を決めておく	ひとりひとり力を合わせる
防災についての話し合いの場をつくる	空いてる時間で何でも手伝う
町会に入っていない人には援助しない事を町民に伝えないと不公平になるので各種団体にも入ってもらい、町会にも入ってもらう	
行政にお願いすること	
広報車を用意する	危険情報を発信してほしい
崩れかけた空き家や納屋があり地震が起きた時災害にあう恐れがある	
市がどれくらい援助してくれるのか早く知らせてほしい	
防災無線を設置	避難場所に大きな掲示板が必要（南池公園）
町内会館を避難所にできないか	我が家が築40年耐震の限度がわかりません
その他の機関・団体をお願いすること	
海拔〇〇メートルと表示する	各種団体の連携、まつり、盆おどり等で
各種団体の連携、まつり、盆おどり等でコミュニケーションを図っておく	
防災グッズのアドバイス	けが人の救助方法
災害時がおきた時動けるボランティアをつくる（若い人等）	
その他の機関、団体とは何があるのか分からなければお願いできない	

岡本

高齢者が安全にくらすために

個人で取り組むこと	
声掛け	定期的に訪問する
困ってることがあればお手伝いさせていただきます	
できるだけ近所付き合いをする	自転車に乗ってうろうろしない
地域で取り組むこと	
世代間の交流を増やす	定期的に行事を行う
町内清掃	公園の清掃
定期的に訪問する	災害時の介助者を決める
年齢により町会費に差をつける	あいさつを心がける
ペットのマナー	路上にゴミを捨てない
行政にお願いすること	
街灯、防犯灯を増やす	補助金を増やす
道路をもう少し凸凹をなくしてほしい	介護保険の減免
コミュニティーバスの便を良くする	防犯カメラの設置
その他の機関・団体をお願いすること	
子どもの遊び場になったグラウンドにゴミが放置になっている学校に教育をお願いする	
防犯対策	

榎井西

地域の見守り

個人で取り組むこと	
声掛け（老人等）	あいさつ
子ども安全見守り隊への参加	ゴミだしのルールを守る
一人暮らしの人への気配り	モラルの向上
個人マナーの向上	
地域で取り組むこと	
近所付き合い	町会としての取り組み
不法投棄の監視	登下校時の見守り
子ども安全見守り隊への参加	モラルの向上
個人マナーの向上	

行政にお願いすること	
助成金をお願いします	警察の協力がほしい
公園をきれいにしてほしい	取り組みに対しての協力、指導
子供が遊びやすく	避難場所の周知を図る
その他の機関・団体をお願いすること	
情報の交換	

檜井東

防災

個人で取り組むこと	
家族で話し合う	非常時の持ち出しの用意
非常時の連絡方法の徹底	避難場所への道順の確認
防災グッズ準備	近所との確認
地域で取り組むこと	
避難場所を決める	連絡網を決める
災害時の集合場所	高齢者、弱者の見守り
日頃の危険箇所チェック	防災訓練をする
行政にお願いすること	
夏場にゴミ収集多く	仮設トイレを各地域に保管
災害時食糧の確保	マップ作り
住民の人数の確認	近い避難場所の設定
その他の機関・団体をお願いすること	
ラポートの場所がわからない	無料バスを運行してください

中央地区・地域の暮らしを話す会

日時：平成 28 年 3 月 12 日（土） 10 時 00 分～11 時 15 分

場所：葵町会館

参加人数：17 人(中町 6 人、葵町 4 人、市場町 5 人

幸町 1 名、日根野西 1 名)

参加スタッフ：社協 4 人（CSW、基幹、包括、地区担当）、行政 1 人

葵、日根野西

高齢化について

個人で取り組むこと	
見守り	話しをよく聞いてあげる
健康状態の把握(家の人)	自転車歩行に注意。夜は明かりをもつ
夜中に電話がある(12 時以降)	人と約束してるから来る(私の家に)
電話をしてないのに電話があったと勘違いして家に来る	
地域で取り組むこと	
個人の情報を把握する	見守り(ご近所特に)
車の運転注意	
行政にお願いすること	
社協の場所、現在便利なので建物をなくさないで欲しい	
福祉センター移転場所を考え直してください	
福祉に関することについて情報欲しい	
その他の機関・団体をお願いすること	
社協の巡回	認知症、自閉症等の講座を開く
高齢者の足回りを良くしてほしい(コミュニティタクシー)	
何べんも病院で MR を取ってもらうように言ってます	

市場町・幸町

助け合える町づくり

個人で取り組むこと	
散歩時のポストチェック	高齢者への挨拶
隣人と仲良くし助け合い出来るようにする	声掛け近隣づきあい
近隣の人から挨拶	隣近所の住民に対しての心配り挨拶

地域で取り組むこと	
町内行事の活性化。回数を増やす	町会への参加勧誘
災害時の初動マニュアル作り	障がい者の把握と見守り
近隣での気遣い	高齢者夫婦のみの世帯の把握(70 歳以上)
町会で高齢者の見守り	高齢者との世代間交流
行政にお願いすること	
読みやすい市報、広報	町会行事の助成金を増やして欲しい
道路を歩行者に優しい作りに	
町会に負担を少なくする行政ように行政に取り組んでほしい	
個人情報の一部提供を(災害時以外の支援のために)	
空き地の活用を図り、小公園または運動場づくり	
交通弱者の安全のために青空駐車を取り締まり	
その他の機関・団体をお願いすること	
障がい者が暮らしやすくするためにケアマネジャー等の充実	
高齢者が働ける環境を！！(65～75 歳まで！)	

中町

気になる家を把握する

個人で取り組むこと	
数人で見に行く。	散歩や買い物に行くとき周りを見る
お互いの顔を知る	子供会に入る。
地域で取り組むこと	
みんなで話し合って情報共有	集団下校の時に互いを知る
町会に誘ってみる	大勢でよりあう
役員で連れ持っていってみる	
行政にお願いすること	
建築課で聞いてみる	都市計画課に問い合わせしてみる
ゴミ袋の不公平、公的機関やめて	
町会に入るように引越ししてきた人に勧めてもらう	
その他の機関・団体をお願いすること	
防災に葵、市場との合同	

二小地区・地域の暮らしを話す会 実施報告

日時：平成28年2月22日（月） 19時00分～20時30分

場所：社会福祉センター

参加人数：22人（高松6、高松北3、高松東6、高松南1、上町3、
大宮3、栄町0、若宮0、大西0、

参加スタッフ：社協4人（地区担当、基幹、包括）、CSW1人、行政1人

高松支部

環境の美化・猫と犬の害・認知問題

個人で取り組むこと	
飼い猫は首輪を必ずする	気が付いた人が糞を処理
空き家の管理	ゴミ出しの日に各自で掃除する事
地域で取り組むこと	
誰もが集まれるカフェを作る	老人、子どもの声かけ
空き地の雑草を処理	
タバコのポイ捨てに対する注意ポスターを作成する	
行政にお願いすること	
蚊が沢山	玄関など犬猫のおしっこ
猫にエサをやらない	警察のパトロールを増やしてください
二小と空連道の間の農水路の埋め立て道、水はけが非常に悪い。道そのものが段差あり通学路にも使っているわりに危険である。	
その他の機関・団体をお願いすること	
道路の雑草の処理	空連道の整備が悪い

高松北支部

地域活動の周知

個人で取り組むこと	
地域の活動に参加する（集団でお掃除など）	個人で家の周りを清掃
声かけ	

地域で取り組むこと	
町会役員を増やす	朝のあいさつ、見守り
自主防の検討	
クリーン作戦の時に事業についてのポスターなど貼る、配る	
行政にお願いすること	
誰がどんな役割をしているかみんなに知ってもらう（学校のカギを誰がもっているのか、民生委員、ボランティア、校区福祉委員などの役割）	
地域の会館や、施設の表示	海拔の表示
町会の仕事を減らせ	
その他の機関・団体をお願いすること	
地域の活動に、参加、協力してもらう	
なかま作りのきっかけを考える（イベント、研修会、講演会）	

高松東支部

交通安全

個人で取り組むこと	
交通マナーを守る（自転車）	雨の日はなるべく歩く様にする
安全確認をして道路を渡る	
携帯をしながらの自転車乗り、歩行はやめよう	
地域で取り組むこと	
小学校へは車で送って来ないように	町会等による安全確認
行政にお願いすること	
各支部で自転車の講習をしてほしい	二小の南側交差点に信号機ほしい
二小前道路を時速 30Km 規制に	
その他の機関・団体をお願いすること	
二小の南側交差点に信号機ほしい	二小前道路を時速 30Km 規制に

高松南支部

明るく元気！！

個人で取り組むこと	
人と話すこと	笑
悪口はいわない！	あいさつ
笑顔で対応	人にはやさしく対応

声かけ	
地域で取り組むこと	
声かけ	食事会やゲームを多くする
気配り	世代間交流
意見は聞いてすぐに対応する	現場対応足を運ぶ
行政にお願いすること	
電話対応をよくして欲しい	活気がほしい
補助金を制限するな	差別するな
礼儀正しく！！	
その他の機関・団体をお願いすること	
社協はもっと楽しいイベントを！！	遊び心を持って楽しく
社協内は明るく、たまには歌や踊りでも！！	

上町支部

住み良い街に

個人で取り組むこと	
笑顔であいさつ	隣近所の人と会うことが少ないあいさつを
マンションが多いオートロックでコミュニケーションがとりにくい	
若い人が地域の集会に集まってこない	
コンビニやお弁当屋さんに行った客のマナーが悪く、ゴミのポイ捨て	
地域で取り組むこと	
グリーン作戦に若い人が来ない	世代間の交流
子ども会の参加がない	ゴミの収集に来る人がない
隣組しかなく、青年団や婦人会もない町に住む人との関係が希薄	
マンションが多いオートロックでコミュニケーションがとりにくい	
若い人が地域の集会に集まってこない	
コンビニやお弁当屋さんに行った客のマナーが悪く、ゴミのポイ捨て	
行政にお願いすること	
道路の幅が小さい車が通れない	夜間街頭が暗い
センタービルの木を切ったので鳥がやってきてふん害が多くなった	
その他の機関・団体をお願いすること	
福祉センターが近かったのに集まりにくくなる	

大宮支部

町内の高齢化対策について

個人で取り組むこと	
認知症の早期発見	墓の整理
地域で取り組むこと	
優しく接する	声かけの実施、あいさつ
コミュニケーションを常にとる	徘徊者に注意
行政にお願いすること	
空き家対策	水路の掃除
補助金の捻出	警察、消防の助け
その他の機関・団体をお願いすること	
認知症に関する教育の実施（病院）	音楽療法



お知らせ

あなたの意見、
話してみませんか



地域の暮らしを 話す会



安心して豊かに住み続けられる地域社会づくりのために、地域でのいいことや困りごと、これからの生活に大切な問題点など、色々話し合ってみませんか？

日時 / 平成××年×月××日（○）午前×時～×時半

場所 / ◆◆町会館

参加者/ ●●地区に居住、在勤の方ならだれでも

●●地区福祉委員会



参考文献：山口県社会福祉協議会、平成 18 年 3 月
「地域で住民のみなさんが住民座談会を開くための手引き」

作成者：社会福祉法人 泉佐野市社会福祉協議会
作成日：平成 28 年

この冊子は、《泉佐野市安心生活創造推進事業》に基づく補助金によって
作成しました。